

学校名	浅口市立寄島小学校
授業者	横山 愛子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「見つけよう！ よりしまの たのしいが いっぱい」

1-2. 学年

1 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科

1-4. 単元の概要

【よりしまの たのしいを みつけよう】
 第一次では、小学校生活に慣れるための学習活動と共に、図画工作科・体育科の学習をよりしま学に関連付けながら、何度も寄島の青佐鼻海岸を訪れ、五感で感じながら海の様々な遊びを楽しみ、海に親しみをもてるようにする。そして、振り返りで友達と思いを共有したり、海で見付けた宝物を使って写真立てを作ったりする中で、友達と共感し合う楽しさや居心地の良さを感じることが、自己肯定感を高めることに繋がっていくと考える。また、校外活動の思い出の写真を教室に掲示したり、映像を繰り返し見たりすることで、その時の感動や楽しさを思い出せるような環境作りにも配慮し、生活の中で自分と対話する機会を増やしていきたい。

【よりしまの たのしいを つくりだそう】
 第二次では、1学期で見付けた楽しみを「いきもの」「あそぶ」「つくる」に整理しながら、自分たちが作り出す楽しみへつなげていけるようにする。製作に当たっては、グループ活動を積極的に取り入れ、互いに作る様子が分かるようにすることで、友達の良さを発見したり、自分の良さに取り入れたりして作ることができるようにする。再度、材料を探しに青佐鼻海岸を訪れることで、前回と同じものを見付けようとしたり、違った発見をしようとしたりすることが、主体的に海の宝物を発見しようとする態度につながるであろう。秋の季節を迎えるなかで、「あき見つけ」の学習や秋の遠足で見付けた秋の宝物も加えながら、製作に広がりをもたせられるようにしたい。振り返りでは、自分の良いところと同時に、友達の良いところが見付けられるようにすることで、自己肯定感を高められるようにしたい。

【よりしまの たのしいを しょうかいしよう】
 第三次では、作った遊び道具を友達と楽しむことで、みんなで遊ぶことのおもしろさや、約束やルールを守って遊ぶことの楽しさに気づき、協働的に粘り強く遊びを作り出せるようになると考えた。作った遊び道具を2年生に紹介する。2年生は、1年生の時に新1年生を小学校へ招待して、自分達で作ったおもちゃを

紹介した経験がある。そのため、遊び方や紹介する方法についてのアドバイスをもらえると考えた。そうすることで、2年生の良さを見付けたり、自分の良さに取り入れようとしたりして、協働的に学び合う気持ちが向上するであろう。振り返りでは、自分の良いところと同時に、友達の良いところを見付けられるようにすることで、自己肯定感を高められるようにしたい。国語科の「もの なまえ」の学習と合わせながら紹介方法を改善し、2月の「新1年生の体験入学」に紹介できるようにする。そして、作った遊びを新1年生に紹介することを目標とすることで、園児により楽しんでもらうために工夫して作ったり、分かりやすく発表したりすることができると思った。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

初めての小学校生活へ期待する気持ちを膨らませる中で、知ったりできたりしたことを素直に表現する機会を増やし、他者の思いに共感したり、自分の気持ちに気付いたりすることができるようにする。また、人との関わりにおいて、自分たちが入学し、新たに寄島小学校の仲間になることを、多くの人を楽しみにしていたことを実感できる機会をつくる。そして、全校児童のしおかせ班活動による「1年生を迎える会」や、2年生による「学校探検」などの経験を通して、自分たちが温かく迎え入れてもらっている気持ちに気付くようにする。そのような活動と共に、校庭内の春の動植物や自然に親しんだり、春から初夏への変化を見付けたりすることで、寄島らしい楽しみは何かと思いを膨らませるようになると考える。

寄島といえば「海！」とみんなが口を揃えて答えたが、海で遊んだり泳いだりしたことのない児童が多くいた。まずは、寄島の代表的な海水浴場である青佐鼻海岸へ足を運び、自分たちで遊びを見付け、様々な遊びを楽しむ中で、自分たちでも遊びを作れないか発案する。作った遊びを新1年生に紹介することを目標とすることで、園児へ分かりやすく発表したり、より楽しんでもらうために工夫したりするを通して、「よりしまには、たのしいことがたくさんあるよ。」「しぜんのものをつかって、たのしみをつくりだせるよ。」と実感し寄島に愛着をもつ児童を育成したいと考えた。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ 自然の中で動植物を見付けたり、遊んだり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や自然遊びのおもしろさに気付くとともに、自然物を生かして物を作ることの楽しさや、遊びを工夫したり作り出したりするおもしろさに気付くことができる。 【知識及び技能の基礎】
- ・ 自然の中で見付けた自然物の特徴やおもしろさに気づき、その特徴を生かして遊びに使うものを工夫して作るとともに、作った物で遊んだり紹介したりする中で、友達などへ分かりやすく紹介できるように工夫することができる。 【思考力、判断力、表現力の基礎】
- ・ 季節ごとに変わる寄島の自然を友達や地域の方々と一緒に楽しみ、自分からその遊びに関わるとともに、友達の良さを見付けたり、自分の良さに取り入れようとしたりして、互いに協力して学び合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】

1-7. 単元の展開（全40時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ～ 13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎や校庭の様子を知り、好きな場所を探したり、楽しく遊ぶために安全を確かめたりする。 ・ 2年生とペアになって学校探検に行く。校内のきまりを守りながら、協力して校内を探検し、校内で出会った人から話を聞いたりすることで、どんな場所やどんな人がいるかを知る。 ・ 学校探検や1年生を迎える会を通して、校内の様子や温かい人々の存在を知り、感じたことを発表する。 ・ 青佐鼻海岸へ歩いて行くことで海の場所を知り海の様子を感じたり、海岸での遊びを発見したり海の宝物を見付けたりして、海の自然での楽しみを体感する。 ・ 振り返りをするなかで、友達と楽しさを共有する。 ・ 友達と一緒に校庭の草花で遊んだり、虫を探したりして、工夫して遊びを作り出すおもしろさに気付き、自然と触れ合う。 ・ 青佐鼻海岸へ行った経験から、何か楽しいことができないか考えを出し合い、自分達で遊びを作り出すことを決める。 ・ 友達と一緒に校庭の夏の虫を探したり、草花で遊んだりして、工夫して遊びを作り出すおもしろさに気付き、自然と触れ合う。 ・ 1学期の振り返りをする。 	<p>発言・行動観察</p> <p>発言・行動観察</p> <p>発言・行動観察</p> <p>発言・行動観察</p> <p>【地域ボランティア】</p> <p>発言・ワークシート</p> <p>発言・行動観察</p> <p>発言・ワークシート</p> <p>発言・行動観察</p> <p>発言・ワークシート</p>
14 ～ 25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期の活動を振り返り、2学期の目標を立てる。 ・ 青佐鼻海岸へ行き、遊び作りの材料を探す。前回と同じものを探したり、違った発見をしたりする。 ・ 振り返りをするなかで、新たに知った海の楽しさを友達と共有する。 ・ 校庭で秋の自然を観察したり、木の実や葉を集めたり、自然を利用して遊んだりして秋を楽しむ。 ・ 校庭や秋の遠足で見つけた木の実や葉 	<p>発言・ワークシート</p> <p>発言・行動観察</p> <p>【地域ボランティア】</p> <p>発言・ワークシート</p> <p>発言・行動観察</p>

	<p>で遊びに使うものやアクセサリを工夫して作る。その時、海の宝物も混ぜてもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作ったものを見せ合い、自分の紹介したいものを決め、グループに分かれて作り足す。 	<p>発言・行動観察・製作物</p> <p>発言・行動観察・製作物</p>
26 ~ 40	<ul style="list-style-type: none"> 作ったもので遊び、新1年生の立場になって紹介するために必要な「こと」や「もの」を考える。 前時を受けて、グループごとに作った物や紹介の方法で、改善すべき「こと」や「もの」を考えて発表する。グループで改善点の優先順位を決める。 グループごとに、作った物や紹介の方法を改善する。 2年生に作った物を紹介して、遊んでもらい改善点を挙げてもらう。 グループで改善点の優先順位を決め、作ったものや紹介の方法を改善する。 作り足りないものや、壊れたものを直すなどして、紹介できるように準備する。 新1年生への紹介状を書いたり、プレゼントを準備したりする。 本番に向けて紹介の練習をする。聞く人の事を考えて、声の大きさや言い方などに気を付ける。 新1年生の1日入学で、「よりしまのたのしい」を紹介する。 よりしま学の1年間の振り返りをする。 	<p>発言・行動観察</p> <p>発言・行動観察・まなボード</p> <p>発言・行動観察</p> <p>発言・行動観察</p> <p>発言・行動観察</p> <p>発言・行動観察</p> <p>行動観察</p> <p>発言・行動観察</p> <p>発言・行動観察</p> <p>発言・ワークシート</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

自然の中で見付けた自然物の特徴やおもしろさに気づき、その特徴を生かして遊びに使うものを工夫して作るとともに、作った物で遊んだり紹介したりする中で、友達などへ分かりやすく紹介できるように工夫することができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
1 本時のめあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none">・ 作った物で遊んだ様子の写真を提示しながら振り返り、楽しかったことの他に困ったことがなかったか問う。・ 去年の「新 1 年生の 1 日入学」の写真を見せることで、新 1 年生への紹介に向けた活動へのイメージを膨らませやすくして、本時のめあてにつなぐ。
<p>「なかよし あきのもり」をしょうかいするくふうをかんがえよう。</p>	
2 紹介するために必要なものを考える。 ・ 自分で ・ ペアグループで	<ul style="list-style-type: none">○ 本時は特に「学びの姿」の「素直さ：受け入れる」を発揮して学んでいくことを知らせる。・ 前時までには、紹介する工夫として「しょうたいじょうを出す」「ひらがなでかく」「プレゼントをわたす」などの意見が出たことを取り上げ、本時では、グループごとに紹介する工夫を考えていくことを確認する。・ 自分のグループの作った物や紹介の方法の改善点を一人ずつ付箋に記入し「まなボード」に貼り付けることで自分事として捉えられるようにする。・ ペアグループの改善した方が良い点を付箋に記入しペアグループの「まなボード」に貼り付ける。・ 書く内容は、短い言葉にするように伝えるが

<p>3 グループに分かれて、考えをまとめる。</p>	<p>、内容によっては詳しく書くことも認めるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貼りながら伝えきれないところは交流しても良いことを伝え、改善する内容を確認合うことができるようにする。 <div data-bbox="810 414 1449 629" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールをかく。 ・かんばんをつくる。 ・しゃしんをはる。 ・たくさんつくる。 ・いろをぬる。 ・プレゼントをつくる。 ・かざりをつける。 ・こえをかける。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・付箋に書かれたみんなの考えを基に、グループのみんなで考えを共有し、似た考えをまとめたり、新たな考えを付け足したりできるようにする。 ・改善点の優先順位を付けることで、話し合いの中でより大事な意見を選んだり、その理由を述べたりして深まるようにする。 <p>○友達と互いに意見を出し合ったり、友達の意見に反応しながら聞いたりしている児童を称揚する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにまとめた考えを発表する。 ・本時の学びを発表するなかで出てきた児童の言葉を基にまとめを行う。
<p>4 本時のまとめをする。</p>	<div data-bbox="240 1294 1412 1406" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>かんばんをつくったりルールをかいたりして、しん1年生がたのしめるよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○分かったことや考えたこととともに「学びの姿」カードに照らして自分の学びを振り返ることができるようにする。

3. 今回の活動の自己評価

- ・各教科との学習を進めるにあたって、教材として寄島の青佐鼻海岸を何度も利用し、海の匂いや生き物の様子を五感で感じながら学習を進められたことは寄島の強みだと感じた。
- ・自然物を使って遊ぶ活動を通して、自然の様子や自然遊びのおもしろさに気付き、友達と関わり合いながらダイナミックに遊びを広げられた。
- ・ボランティアや保護者等の助けを借りて活動できたので、地域の方の温かさを感じながら学習することができた。
- ・自然の中で見つけた自然物の特徴やおもしろさに気付きながら、その特徴を生かして遊びに使うものを工夫して作り出すことができた。
- ・グループで、みんなが楽しんでもらうために工夫して作ったり、遊びを分かりやすく紹介するための工夫を話し合ったりする中で、自分のよいところと同時に、友達のよいところを見付けることができた。
- ・2年生との交流では、遊びながら助言してもらって進めることができたため、児童にとっては自然な流れで学び合いができていたと感じた。

4. 今後の課題

- ・経験したことが断片的に楽しい思い出とはなっているが、それらが寄島のよさや自慢できることという思いにつながるのには時間がかかるのだと感じた。12月に行った「教育相談アンケート」の「寄島のことが自慢できるか」という項目において、54%の児童が自慢できると答えたが、2年生以上は平均85%であった。単元目標にはなっていないが、指導者がふるさとの魅力についてなど、もう少し意識した言葉がけをすると、児童の意識が変わってくるのではないかと感じた。
- ・本時では、めあてを設定する時に、作る工夫と紹介する工夫を分けて考えた方が、児童の思考に沿ったものになったのではないか。また、まなボードを使い意見を出し合う際に、自分たちの班の意見と他の班の意見を書く付箋の色を変えておくと、視覚的に分かりやすかった。
- ・本時では、工夫を見付ける活動で、クラス全体での交流の場面を発表形式にしたが、「すなあそびコーナー」等の1つのコーナーを焦点化して取り上げ、みんなで考えながら話し合いができる環境作りが必要であった。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にないが、反省会で出た内容がだ、活動が忙しくなったので、2単位時間を授業とする方がゆったりとできる。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト